

# 川来小

一億九千万円で「ミニ総パ事業」

## 農道、農村公園などを整備

農業総生産の向上と土地の効率的な利用を図り、生活の

基盤を有機的、一体的に整備を行う「農村基盤総合整備事業（ミニ総パ事業）」が、小来川地域で行われています。

この事業は、昭和五十八年度から始まっており、同六十九年度までの四か年で、農道、

農業用排水路の生産基盤整備、集落道、農村公園、防火水槽、農業集落多目的施設等の環境整備を行うもので、総事業費は一億九千万円（国庫補助五五％、県費補助二〇％、市、受益者負担二五％）とな

っています。

事業の内容は、農道整備が東小来川藤根ヶ沢など四本で事業費は七千四百万円、農業用水など四本で四千万円、農業集落道整備が東小来川中界地で四千七百万円、農村公園

緑地整備が滝ヶ原分校跡で三百万円、集落防災安全施設整備（防火水槽）が宮・中・東小来川に六か所で一千八百万円、農業集落多目的施設整備（集会場）が西小来川で八百万円となっています。これらの事業のうち、藤根

### 小倉山森林公園と湯元

### 苑地の整備工事始まる

小倉山森林公園の苑地整備工事が来年三月完成を目指し

「ミニ総パ」と呼ばれる農村基盤総合整備事業は、将来とも農業発展の可能性が高い農業集

落の範囲を対象に、農業総生産の増大、土地利用の向上等に寄与する条件を備えているが、地形上、団地構成上等の制約からみて、他の補助事業では対応できないので整備が遅れている地域を対象に生産及び生活の基盤を有機的、一体的に整備を行う総合基盤整備事業です。

て始まっています。この苑地整備は、同森林公園の運動公園ゾーンを中心に行われるもので、工事費は約二千万円。今回の整備は花木の植栽だけでなく、まず、テニスコートの周りにツツジ三千本とサツキ二千二百本。遊歩道の両側にイブキとドウダンツツジをそれぞれ百三十本、そのほか、モミジ、アジサイ、レンゲツツジ、カエデなど合わせて約

七千七百本の花木を植え込むことになっています。一方、湯元の苑地整備は、昭和五十七年に整備したのに続いて行われるもので、今年度分の工事としては、千二百万円で約七百平方メートルの張芝や、東屋、案内標識、野外卓十二基、ベンチ十五基を整備することに なっています。

これが完成すると、苑地内ではゲートボールをはじめ、軽スポーツを楽しむことができるほか、観光客や地域住民の人たちの憩いの場としても利用してもらうことにしています。

### 栃木県最低賃金は

1 日	3,268円
1 時間	409円

昭和五十九年十月三日から「栃木県最低賃金」は、一日三千二百六十八円、一時間四百九円で、栃木県内で働く労働者に適用されます。

また、このほかに産業別の最低賃金が定められ、これらの産業で働く労働者には、栃木県最低賃金のほか、それぞれの産業別最低賃金が適用され、この場合、高い額の最低賃金の適用を受けることになります。なお、臨時に支払われる賃金、一か月を超える期間ごとに支払われる賃金、時間外・深夜・休日労働に対して支払われる賃金のほか、精勤手当、通勤手当、家族手当は算入しません。

詳しくは、栃木労働基準局（☎0286349111）へ。